

レジメンと主な副作用の指導内容

☆治療スケジュール(GPT-11+Pani療法)

下記の治療を2週毎に繰り返します

時間	投与するお薬	
30分	デキサメタゾン アロキシバッグ	6.6 mg 0.75 mg/袋
1時間	ベクティビックス 生理食塩液	$[6\text{mg}/\text{kg}]$ mg 100 mL
90分	カンプト 生理食塩液	$[150\text{mg}/\text{m}^2]$ mg 500 mL

☆治療に使うお薬について

お薬の名前	お薬の作用
アロキシ	吐き気を抑えるお薬です。
デキサメタゾン	アレルギー症状や吐き気を抑えるお薬です。
ベクティビックス	抗腫瘍薬です。
カンプト	抗腫瘍薬です。

☆副作用

・注射時反応（ベクティビックス点滴中～）

点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。

また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。

特に初回に多いと言われていています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。

・吐き気（当日～）

・味覚異常、臭覚過敏（当日～）

・便秘（当日～）

・口内炎（1～2週間ごろ）

普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。

・下痢

カンプト点滴中、下痢や腹痛を認めることがあります。症状を抑えるお薬があるので申し出てください。

自宅にて、腹痛や1日4回以上の下痢、水様便などが継続する場合は

お知らせください。

下痢になる原因物質は糞便とともに排泄されるため、点滴後数日は毎日排便があるように調節してください。

また、点滴をした日から4日間は乳酸菌食品の摂取を避けてください。

・皮膚症状

発疹、皮膚の乾燥、ひび割れが起こることがあります。

皮膚を清潔に保ち、保湿を心がけ、刺激を与えないようにしてください。

・脱毛（2週間ごろ～）

投与終了後は再び生えてきます。頭皮を清潔に保ちましょう。

・間質性肺炎

咳・息切れ・息苦しい・発熱などの症状が現れることがあります。

・検査値異常

電解質異常(マグネシウム、カルシウムなどの減少)が現れることがあります。

・骨髄抑制（1～2週間ごろ）

白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。

→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を

心掛けてください。値によっては増やす薬を使用することがあります。

→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。

☆注意事項

※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。

※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。

※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。